

第2回「学校教育におけるキャリア教育」フォーラム  
参加申込書

※申込書に必要事項を記入のうえ、必ずFAXにてお送りください。

参加する分科会（参加する実践発表に○をつけてください）			
実践発表A（甲南高等学校）定員80人		実践発表B（足立西高等学校）定員80人	
実践発表C（富岳館高等学校）定員80人		実践発表D（神奈川大学）定員80人	

氏名等			
フリガナ		性別	情報交換・懇談会（会費 1,000 円）
氏名		男・女	<input type="checkbox"/> 参加する <input type="checkbox"/> 参加しない
所属・学校名等			
所属・学校名等		職名	
<input type="checkbox"/> 高校 <input type="checkbox"/> 中・小学校 <input type="checkbox"/> 大学・短大・専門学校 <input type="checkbox"/> 企業 <input type="checkbox"/> 協会・団体 <input type="checkbox"/> 官公庁 <input type="checkbox"/> 学生 <input type="checkbox"/> その他			
連絡先			
住所	〒		
TEL		FAX	

※情報交換会費は当日受付にてお預かりします。  
※必要に応じてコピーしてご利用ください。

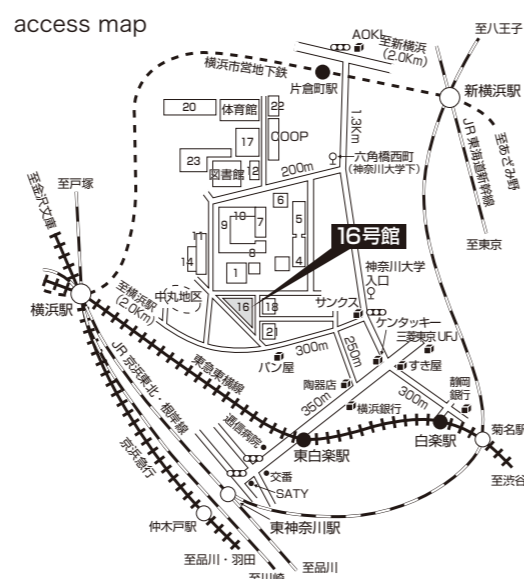
申込締切 2007年7月26日（金）

個人情報の取り扱いについて

参加申込書に記載された個人情報は、厳重に取り扱い、「個人情報の保護に関する法律」および「学校法人神奈川大学個人情報の取扱いに関する規程」に則って利用します。

【交通のご案内】

- 東急東横線「白楽駅」下車徒歩13分
  - 横浜駅西口バスターミナルから横浜市営バスを利用（東神奈川駅経由）  
【1番乗り場36系統】菅田町／緑車庫行 約14分  
「神奈川大学入口」または「六角橋西町」下車  
【1番乗り場82系統】八反橋／神大寺入口行 約14分  
「神奈川大学入口」または「六角橋西町」下車
  - 片倉町駅前（横浜市営地下鉄）から横浜市営バスを利用  
【2番乗り場36・82系統】東神奈川駅西口／横浜駅西口行 約7分  
「六角橋西町」または「神奈川大学入口」下車
- ※ 駐車場がありませんので、お車のご来場はご遠慮願います。



神奈川大学高大連携協議会事務局

〒221-8686 横浜市神奈川区六角橋 3-27-1  
TEL.045-481-5661 (代) FAX.045-481-2781

学校教育におけるキャリア教育  
フォーラム

**日時** 2007年8月3日（金）  
13:00～17:15（受付開始 12:30）

**場所** 神奈川大学 横浜キャンパス  
〒221-8686 横浜市神奈川区六角橋 3-27-1

**申込方法** 裏面の参加申込書に必要事項をご記入の上、必ずFAXにてお申込ください。

**申込期日** 2007年7月26日（木） 参加費無料

**定員** 分科会各 80人  
（ただし、定員になり次第締め切らせていただきます。）  
\*フォーラム終了後、発表者・コメンテーター・参加者による情報交換会を行います。（会費 1,000 円）

開会挨拶  
13:00 神奈川大学高大連携協議会会長 中島三千男（神奈川大学学長）

**セッション1**（全体会） 基調講演（セレストホール）  
「高校教育におけるキャリア教育の取り組み」ー課題と展望ー  
高田正規（ベネッセ教育研究開発センター特別顧問）

**セッション2**（分科会） 実践発表  
**A** 「地球規模でものを考えるリーダーの育成をめざして」  
発表者／鹿児島県立甲南高等学校  
コメンテーター／木村 周（日本産業カウンセリング学会副会長）

**B** 「都立高校におけるキャリア教育の実践  
～生徒全員参加のインターンシップ～」  
発表者／東京都立足立西高等学校  
コメンテーター／梅澤 正（NPO 法人キャリア文化研究所理事長）

**C** 「キャリア教育～観て学ぶ『富岳館仕事ウォッチング』～」  
発表者／静岡県立富岳館高等学校  
コメンテーター／萩原信一（財団法人日本進路指導協会理事）

**D** 「神奈川大学におけるキャリア形成プログラム」  
発表者／神奈川大学  
コメンテーター／桐村晋次（法政大学キャリアデザイン学部教授）

**セッション3**（全体会） 発表概要の報告（セレストホール）  
各班コメンテーターによる発表概要の報告

閉会挨拶  
17:15 神奈川大学高大連携協議会 川井陽一（神奈川県立湘南高等学校長）

総司会／石井和世（神奈川大学高大連携協議会副議長  
神奈川県立横浜桜陽高等学校校長）

高校・大学における実践と課題

学校教育におけるキャリア教育は、学校関係者のみの取り組みでなく、家庭、地域、企業など広く社会の理解と協力・支援が必要です。この観点から昨年12月、「学校教育におけるキャリア教育」“今、なぜキャリア教育か”をテーマに、文部科学省、高等学校関係者等多方面の方々の協力を得て、シンポジウムを開催しました。

今回のフォーラムでは、キャリア教育をどのように行い、生徒の価値観やキャリア観にどのような変化が見られるかなど、取り組みの実際を発表していただくことにしました。

とくに普通科高校にスポットを当て、その取り組みと専門家のコメントをもとに、「キャリア教育」への理解を一層深める機会にしたいと考えています。

# 「高校教育におけるキャリア教育の取り組み」 —課題と展望—

会場：神奈川大学 横浜キャンパス（セレストホール）  
日時：2007年8月3日（金） 13:00~17:15

実践発表

A

## 「地球規模でものを考えるリーダーの育成をめざして」



鹿兒島県立甲南高等学校  
〒890-0052 鹿兒島市上之園町 23-1  
TEL : 099-254-0175  
校長 : 中尾 理  
発表者 : 進路指導部主任 藤崎 恭一  
設置学科 : 普通科  
生徒数 : 950人 (平成19年度)  
URL <http://www.synapse.ne.jp/kounanhs/>

「地球規模でものを考えるリーダーの育成」を新たな教育方針とし、「総合的な学習の時間」を中核に据え、ランドデザインに基づいた教育活動を行っている。平成13年度から取り組んでいる「KIプロジェクト」(Konan Innovation Project)は、1年次に「テーマ学習」、「ディベート演習」その成果としての「小論文コンクール」を実施。2年次では学級のグループによる「テーマ研究」、学級を解体して進路志望系統集団(KIグループ)に再編成しての「専門的なテーマ学習」、「ブラッシュアップセミナー」などを通して、自分の将来の進路を展望しつつ「課題研究テーマに沿った調査・研究」を行い、3年次の「プレゼンテーション」に結びつけていく。このほか、「甲南塾」、「甲南タイム」、「甲南100冊読破運動」などの活動を相互に関連させながら、遅しく、人間性、創造性、指導力を備えたリーダーの育成を目指している。

■ 司会 / 澤田敏志 (神奈川大学高大連携協議会副議長 神奈川大学附属中・高等学校長)

実践発表

B

## 「都立高校におけるキャリア教育の実践～生徒全員参加のインターンシップ～」



東京都立足立西高等学校  
〒123-0872 東京都足立区江北 5-7-1  
TEL : 03-3898-7020  
校長 : 渡辺 洋  
発表者 : 進路指導部主任 丹野 廉三  
設置学科 : 普通科  
生徒数 : 699人 (平成19年度)  
URL <http://www.adachinishi-h.metro.tokyo.jp>

「インターンシップ」を1年生全員を対象として実施するプログラムである。多様な進路希望に対応するため、組織的な指導体制のもと、キャリア教育を計画的・系統的に実施している。インターンシップは新教育課程実施年度より2年早い2001年度学年行事として実験的にスタートしたが、翌年から学校行事として1年生全員を対象に実施され、2005年には東京都教育委員会が指定するインターンシップ推進校に選ばれている。このキャリア教育を経た卒業生を送り出して4年が経過したが、インターンシップが導入されてから新卒無業者は次第に減少しており、2001年度には37人であった進路未決定者は、2005年度には5人であった。(東京都の学校基本調査では平均11.9%が未決定)

■ 司会 / 石川裕二 (神奈川大学高大連携協議会副議長 神奈川県立横浜清陵総合高等学校長)

コメンテータープロフィール ①現職 ②略歴 ③所属学会 ④主な著書論文 ⑤社会での活動状況



### 木村 周 (きむら しゅう)

- ①日本産業カウンセリング学会副会長、東京成徳大学院客員教授、NPO日本キャリア・カウンセリング研究会顧問
- ②東京教育大学心理学科卒業、旧労働省入省(心理職)行政研究所における職業研究、行政職員の研修に従事、その後筑波大学教授(心理学系)を歴任
- ③日本産業カウンセリング学会(副会長)、日本カウンセリング学会(名誉会員)、日本キャリア教育学会、人材育成学会(理事)、産業組織心理学学会(理事)
- ④「キャリア・カウンセリング(改訂新版)」「日本のキャリア・ガイダンスに関する最近の動きと今後の課題 2006 The Japan Labor Review Vol3no2」など多数
- ⑤キャリア研究会を主宰。教育就職支援企業の教育担当、医療・福祉の分野の実務家、研究者と毎月勉強会をしている。12年間150回に達している。



### 萩原 信一(はぎわら しんいち)

- ①財団法人日本進路指導協会理事、日本体育大学講師
- ②東京教育大学理学部数学科卒業、東京都立城北高等学校長、東京都立新宿山吹高等学校長、全国高等学校進路指導協議会会長を歴任
- ③日本数学教育学会
- ④「面接試験合格ノート」(2)(一ツ橋書店)「生徒指導・進路指導論ーガイダンスとキャリア教育の理論と実践ー」共著(図書文化「教職課程シリーズ」)
- ⑤「若者の包括的な自立支援方策に関する検討会」協力者(内閣府)、「若者自立塾(仮称)設置準備懇談会」協力者(厚生労働省)



### 梅澤 正 (うめざわ ただし)

- ①日本教育大学院大学客員教授、NPO法人キャリア文化研究所理事長
- ②東京大学文学部社会学科卒業。桃山学院大学、新潟大学、東京経済大学の教授を歴任。産業社会学専攻(職業社会学、企業文化論、企業社会関係論)。
- ③日本キャリアデザイン学会、日本経営教育学会。
- ④「大学におけるキャリア教育のこれから」「職業とキャリア」「企業と社会」他多数。
- ⑤NPO法人青少年キャリア教育協会理事、日本キャリア開発協会研究員(CDA)。複数の自治体で、親へのキャリア教育や団塊世代へのキャリアメンター育成講座を担当。



### 桐村 晋次(きりむら しんじ)

- ①法政大学キャリアデザイン学部教授 神奈川大学講師
- ②東京大学法学部卒業、古河電工(株)常務取締役、古河物流(株)社長、神奈川大学経営学部教授を経て現職
- ③日本産業カウンセリング学会、日本キャリアデザイン学会、人材育成学会 この間、会社勤務をしながら筑波大学院(カウンセリング専攻)修了
- ④「人材育成の進め方第3版」「人事マン入門第2版」「キャリアコンサルタント講座Ⅱ、Ⅳ」他論文多数
- ⑤中央教育審議会専門委員 大学設置・学校法人審議会委員 日本経団連教育委員

## 高田 正規

(ベネッセ教育研究開発センター特別顧問)



### 高田 正規 (たかた まさのり)

最終学歴：岡山大学教育学部卒業  
現職：ベネッセ教育研究開発センター特別顧問  
略歴：岡山朝日高校教諭、岡山大学文学部講師などをへて福武書店(現ベネッセ)入社。進研情報センター・教育総研所長などをへて現職。  
所属学会：地域科学学会評議員  
主な著書・論文：「学習力の構築をめざして」(2002年)「学力から人間力へ」(2003年分担)「学生満足度と大学教育の問題点」(2005年)など  
社会での活動：教育委員会・高校長会などが主催する研修会での講演活動

高校生の自己実現の志向性は功利的傾向が強く、いまと自分を軸にした行動規範に基礎づけられた特性を示している。これは、現代社会における大人の価値観を反映している。このため自己形成の学びが自らの将来を考えるキャリア教育の柱として推進されている。生徒の実態にふまえ解決課題を抽出し、実践報告の発表につなげたい。

実践発表

C

## 「キャリア教育～観て学ぶ『富岳館仕事ウォッチング』～」

静岡県立富岳館高等学校  
〒418-0073 富士宮市弓沢町 732 番地  
TEL : 0544-27-3205  
校長 : 鈴木 まき子  
発表者 : 進路課課長 青木 照明  
設置学科 : 総合学科



【普通系列】国際教養、社会科学、自然科学  
【専門系列】生物生命、建築デザイン、情報ビジネス、健康福祉  
生徒数 : 706人 (平成19年度)  
URL <http://www.shizuoka-c.ed.jp/fugakukan-h/>

「富岳館仕事ウォッチング」は前例のないプログラムである。卒業生に対する追跡調査で「会社のことをもっと知っておきたかった。」「仕事に関する体験がなかった。」といった声が多かった。このことを受け、インターンシップや企業見学とは異なる、新しい啓発的な進路体験学習として2005年に導入されたもので、働いている「人」を中心に体験するプログラムである。会社における仕事の種類や仕組み(リレーション)を知り、仕事はチームプレーであることを知るなど、企業見学や就業体験とは違った職業の見方ができる。このことは学校での「おあしす運動」(挨拶の励行)の推進や、規範意識の向上(非行や校則違反の削減)など、基本的な生活習慣や社会におけるモラルやマナーを身につけさせる面での効果を生んでいる。また、仕事と学校での学びを関連づけ、生徒の将来設計能力を高め、進路未決定者や早期離職者の改善につながっている。

■ 司会 / 王尾富美子 (神奈川大学高大連携協議会副議長 神奈川県立大清水高等学校長)

実践発表

D

## 「神奈川大学におけるキャリア形成プログラム」

神奈川大学  
[横浜キャンパス] 〒221-8686 横浜市神奈川区六角橋 3-27-1  
TEL : 045-481-5661  
[湘南ひらつかキャンパス] 〒259-1293 平塚市土屋 2946  
TEL : 0463-59-4111



学長 : 中島 三千男  
発表者 : 学修進路支援部 就職事務部長 明比 卓  
設置学部 : 法学部 経済学部 経営学部 外国語学部 人間科学部 理学部 工学部  
学生数 : 18,177人 (平成19年度)  
URL <http://www.kanagawa-u.ac.jp>

神奈川大学のキャリア教育は、「低年次からの学生生活の設計、進路・就職への動機付け」、「進路希望と学修計画のマッチング」、「将来的な職業観、社会生活像の構築」、「実践的能力のブラッシュ・アップ」を目的に、正課内教育と正課外教育の組み合わせによってプログラムを多重化している。2006年度、正課内教育として導入した「キャリア形成1～V」は、「自己変容指導から始めて職業観形成にいたる指導」型のキャリア教育といえる。仕事や職場、就職ノウハウ(スタイル・セット)を考える前に、「自己形成」を重要視し、十分な時間をかけて「本当の自分を見つめ受け入れる視点(気付き)→ポジティブに考え自分を変容させる視点(自己変容)→自分を向上・成長させる視点と意欲(自己成長)」を理解・形成させる(マインド・セット)ことから行う。そのうえで「就労意識、人材要件の向上、仕事への基礎理解、ビジョン醸成、それらに必要な能力向上」等を図る。これらの要件指導は高校におけるキャリア教育の参考になると考えている。

■ 司会 / 望月正大 (神奈川大学高大連携協議会副議長 神奈川県立大原高等学校長)